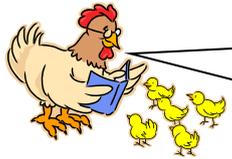


それゆけ！ としょかんだより



2008年2月
第10号

発行所
高野山大学図書館
閲覧室



みんな！
試験の調子は
どうじゃ！？

アッという間に1月も終わりですね…。

試験が終わったら実家でひといきつく方、まだ大学でやる
ことが残っているという方…。
いい休みを送ってくださいね

図書館イベント



平成19年度 第1回 本学図書館文化講座の開催！

来る1月25日、図書館2階のグループ学習室において、図書館主催の「平成19年度 第1回 本学図書館文化講座」を開催する。題目は「古典籍に見る本の装丁」で、図書館員による講座である。当図書館が所蔵する、中世の古典籍の中から、いくつかを選んで解説したい。一口に本の装丁といっても、様々な形態がある。書物が持つ、深遠の世界を一緒に垣間見たい。



平成19年度 第1回 本学図書館文化講座 古典籍に見る本の装丁

講師：本学図書館員

日時：2008年1月25日（金）

16：30～17：20

場所：図書館2階 グループ学習室

ちょっと、ひといき♪

『刺青』 谷崎潤一郎 著 請求記号：620/Bシ/21, 620/Fシ/17

あふれる才能をもった彫り物師 清吉は自分が満足するような美しい女の体に刺青を彫ることが夢だった。そしてある日清吉は理想にかなった娘を見つける・・・というストーリー。

30分かつからず読める短い作品ですが、言葉の美しさと文章のリズム、そしてそれらがもし出す色香に引き込まれてしまいます。本を閉じるまでは自分がどこにいるのかも忘れ、まるで清吉が娘の背に針を刺していくのを物影から覗き見しているような気になります。

ほんの少しの間異世界に忍び込むための扉のような本です。旧仮名遣いやなじみのない言葉も出てきますが、毛嫌いせずに味わってほしいです。

(図書館学生モニター：山上)

全国書店売上
BEST10! Yahoo!ブックス
毎月1日のラン
キングです。

1月

- 『ホームレス中学生』
- 『女性の品格』
- 『水妖日にご用心』
- 『MICHELIN GUIDE 東京』
- 『このミステリーがすごい！2007年のミステリー & エンターテインメントベスト10 2008年版』
- 『君 空』
- 『あたしんち 13』
- 『大人の見識』
- 『恋 空』上
- 『求めない』

2008年1月の開館予定表

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

2008年2月の開館予定表

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	1

	9:00-19:00		13:00-19:00
	9:00-17:00		13:00-17:00
	9:30-12:00 / 13:10-17:00		
	閉館		9:00-12:00

切り取り

今月のおすすめ図書！

※今月は井上ウィマラ先生のおすすめです。

ツイアビ 著 岡崎照男 訳

『パパラギ はじめて文明を見た南海の酋長ツイアビの演説集』（学習研究社，1981年）

請求記号：844/ハ/17

私がこの本に出会ったのは、大学に入って2回生になったくらいのことだったと思います。友人が「面白い本が出たぞ」と興奮気味に貸してくれた本を読み終わるや、「これは自分のバイブルにしたい！」という思いに駆られて書店に走ったのを覚えています。

パパラギとは、サモア語で空を打ち破ってきた人という意味だそうです。その昔、ヨーロッパ人宣教師が帆船に乗ってやってきたのを見たサモア人は、遠くからその白い帆を見て、空にあいた穴だと思い、その穴を通して白人がやって来ると信じたのだそうです。パパラギとは、その空にあいた白い穴をやって来るヨーロッパ人のことであり、この本は、サモアの酋長ツイアビがヨーロッパに滞在して目の当たりにした白人の機械文明の本質を素朴な言葉で島民たちに話して聞かせた法話集です。

『パパラギ』の初版が出たのは1920年、第一次世界大戦直後で、本書にはその戦争や階級闘争のこたらしい言及もあります。ツイアビの目に映った機械文明の本質は愛のない奇跡でした。神の愛を教えてくれたはずのパパラギたちは、言葉で愛を説きながらも、思考に蝕まれて暗闇の中に苦しんでいました。ツイアビが「大いなる心」と言っているのは、今のスピリチュアリティにあたるものだと思います。

本書は、既成の枠を外して人生とは何かを考え直してみるための絶好の参考書です。

今月の…ぴか！



節分といえば、太巻きを食べ、とげとげの葉っぱのついた枝とイワシの頭を玄関に飾り、豆をまく。毎年の行事ですよ！それではもうすぐ来る節分の豆知識として……。

もともと節分は、立春、立夏、立秋、立冬など、季節の改まる前の日のことを言い、いつの頃からか、立春の前夜のことをさすようになりました。

節分の由来は、古代中国の大晦日、邪鬼や疫病などを打ち払うために、鬼の面をかぶった人を桃の木で作った弓矢で討って追い払う「追儼（ついな）」という行事があり、これが日本に伝わって、

もうすぐ節分♪

平安時代、宮中で大晦日の行事として、盛んに行われるようになりました。それが室町時代には豆まきになり、江戸時代には一般庶民の間にも広まったのです。「豆をまく」ことで、農民たちの豊作の願いも込められていたんですね！

明治5年（1872年）、旧暦を廃止して、太陽暦を採用したため、現在の2月3日が節分になったのです。

昔の節分は大晦日にあっただけですね！今も大晦日に節分をしたら、豆をまいて、お正月飾りをして、おせち作って、いわしとかも飾って……やることいっぱいになりますね！

※参考にした資料は、

飯倉晴武編著『日本人のしきたり:正月行事、豆まき、大安吉日、厄年…に込められた知恵と心』（青春出版社，2003年）
 瀬戸内寂聴、藤井正雄、宮田登監修 株式会社日本アート・センター編集『節分』（仏教行事歳時記2月）（第一法規出版1988年）
 です。興味をお持ちの方は、どうぞご覧下さい。



（編集後記）新年初めての図書館だよりです！お正月気分が抜けきれてないのにもう2月…。時間がたつのは早いですね。（森）

発行所

〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山385 高野山大学図書館 閲覧室
 Tel:0736-56-3835 / Fax:0736-56-5590 / E-mail:service-lib@koyasan-u.ac.jp